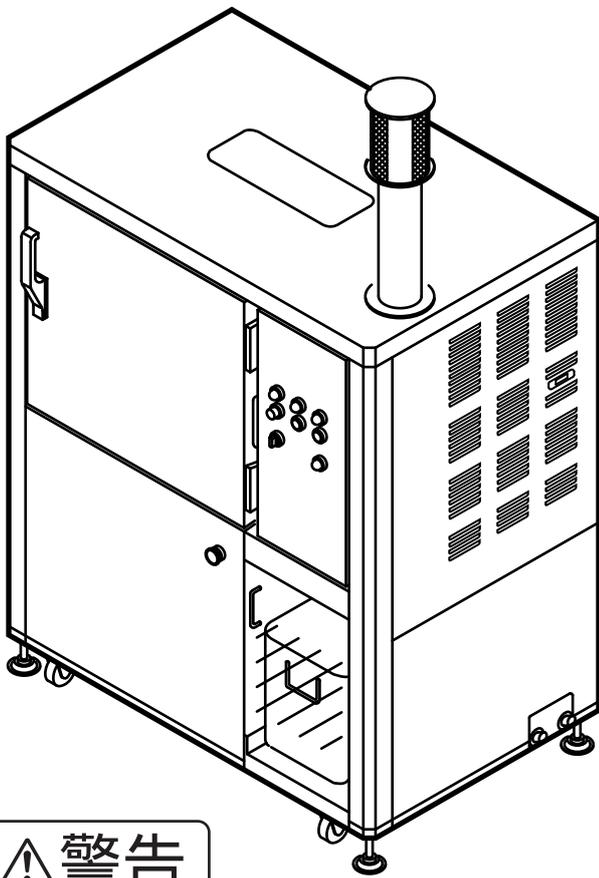


# DAINICHI

灯油焚き業務用生ゴミ処理機

# DNS-K60A

## 取扱説明書



### 目次

#### ご使用前

△安全のために必ずお守りください

商品概要

各部のなまえ

操作部のなまえとはたらき

投入できるもの / 投入してはいけないもの

使用前の準備

#### 使用方法

上手にお使いいただくために

運転のしかた (漏電ブレーカーの動作チェック)

乾燥ゴミの排出のしかた

#### その他

手入れのしかた

異常が発生したとき

故障・異常の見分け方と処置方法

保証とアフターサービス

定期保守整備契約について

操作部の「ランプ」交換のしかた

仕様

問い合わせ先

保証書

1  
5  
6  
7  
8  
9

ご使用前

10  
11  
14

使用方法

17  
20  
21  
23  
24  
25  
26  
27

その他

裏表紙

このたびは灯油焚き業務用生ゴミ処理機をお買い上げいただき、ありがとうございます。

お使いになる前に必ずこの説明書をお読みになり、正しくお使いください。

取扱説明書はご使用になる人がいつでも取り出せる場所に、工事説明書と共に保管してください。

# 安全のために必ずお守りください

この取扱説明書にある項目は、危険の程度を表しています。

マーク	危険の程度
<b>警告</b>	取扱いを誤った場合、使用者が死亡、または重傷を負う可能性が考えられる場合
<b>注意</b>	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が考えられる場合、また物的損害のみの発生が考えられる場合

本文中のマークは、次の意味を表わしています。  
(マークの中や周辺に具体的な内容が書かれています)

	絶対に行わないでください。		指を挟まれないよう注意してください。
	絶対に触れないでください。		必ず指示に従ってください。
	絶対に分解修理・改造はしないでください。		必ずアースを接続してください。

## 警告

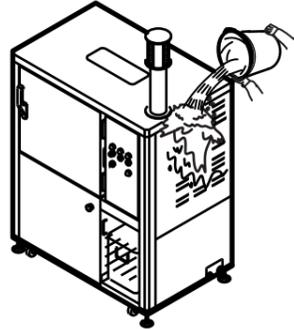
### ガソリン厳禁



#### ガソリン厳禁

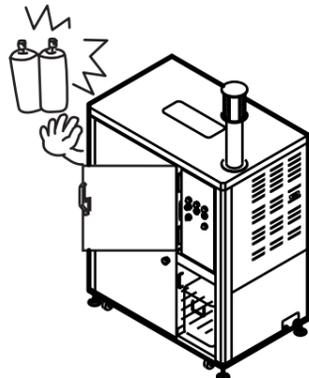
燃料は必ず灯油（JIS1号灯油）を使用してください。  
ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。  
火災の原因となります。

### お手入れの際は、本体に水をかけない



ショートや感電の恐れがあります。

スプレー缶・缶詰や石油類・花火・アルコール・酒類・アルコール分を含む食品など引火・爆発するものは入れない

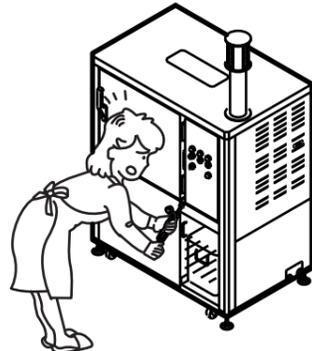


火災・けがの恐れがあります。

絶対に分解したり修理・改造はしない  
(ランプ交換のしかたの手順は除きます)



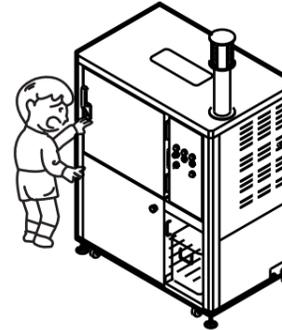
#### 分解禁止



発火したり、異常動作でけがをすることがあります。  
修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。

## 警告

### 幼児・子供に使わせない



やけど・感電・けがをする恐れがあります。

### 外れ危険



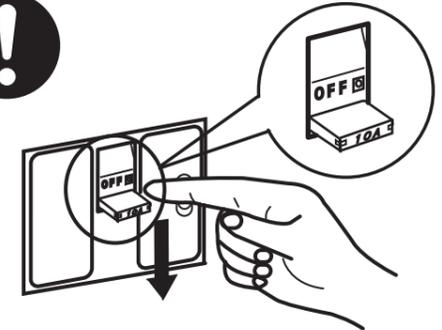
屋内に設置しているときは排気筒が正しく接続されているか点検してください。  
外れていると運転中に排ガスが室内に漏れ危険です。

### 排気筒の閉そく危険



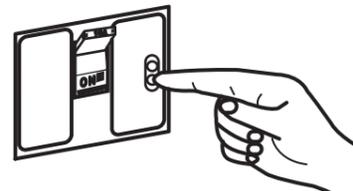
屋内に設置しているときは排気筒がつまったり、ふさがれていないことを確認してください。  
閉そくしていると運転中に排ガスが室内に漏れて、危険です。

お手入れ・点検の際は、必ず漏電ブレーカーを「切」(OFF)側にする



感電やけがをする恐れがあります。

漏電ブレーカーの動作確認をする



故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

アース工事がされているか確認する



#### アース線接続



故障や漏電のときに感電する恐れがあります。

排出口扉から乾燥室に物や手を入れない



#### 排出口扉

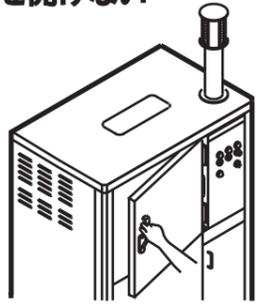
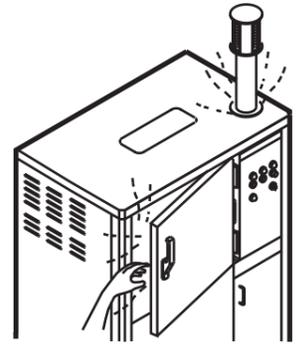
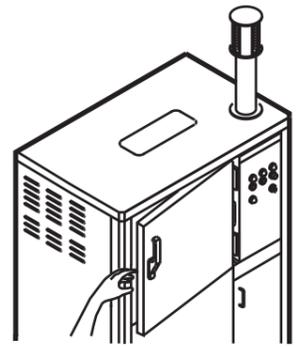
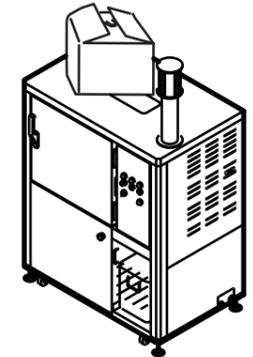
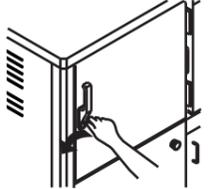
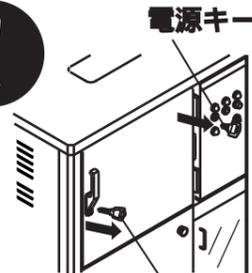


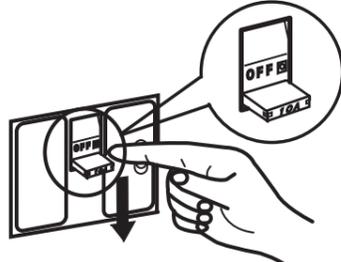
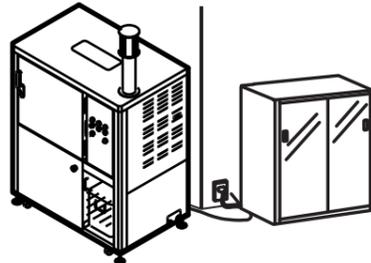
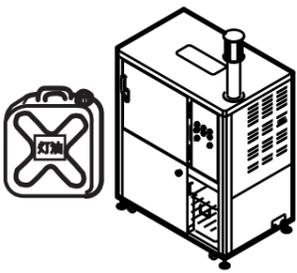
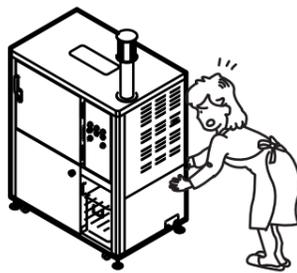
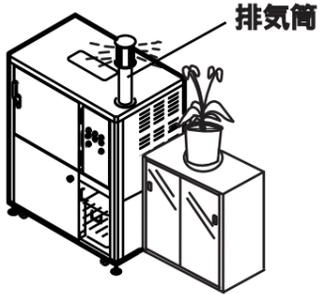
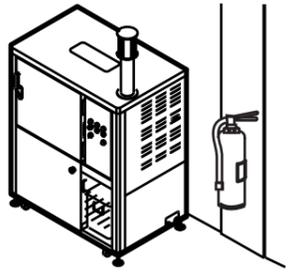
内部は、攪拌羽根が回っており、やけど・けがをする恐れがあります。

# 安全のために必ずお守りください

ご使用前

安全のために必ずお守りください

⚠ 注意		
<p>運転中は投入扉を開けない</p>   <p>高温の湯気が出たり、内部が高温になっていますのでやけどする恐れがあります。また攪拌羽根の動きが止まりきっていない場合、指のはさみによるけがの恐れがあります。</p>	<p>運転中や運転停止直後は、高温部に触れない</p>  <p>接触注意</p>  <p>投入扉の内側や排気筒の周囲は高温ですのでやけどの原因となります。</p>	
<p>投入扉の開閉時は指づめに注意する</p>  <p>指に注意</p>  <p>指づめによるけがの原因になります。</p>	<p>機器の上に乗ったり物を置かない</p>   <p>故障や落下事故・火災の原因になります。</p>	
<p>異常音発生時（異物混入など）は、運転を止め、必ず漏電ブレーカーを「切」（OFF）側にする</p>   <p>異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。</p>	<p>運転中は投入扉のキーを抜く</p>   <p>投入扉を開けると高温の湯気が出てやけどしたり、事故の原因になります。いたずら運転防止のためにもキーを抜いてください。</p>	<p>「投入扉開閉キー」と「電源キー」は必ず抜いて保管する</p>   <p>電源キー</p> <p>投入扉開閉キー</p> <p>部外者の誤使用などによる危険の恐れがあります。</p>

⚠ 注意	
<p>ご使用のとき</p> <p>長期間ご使用にならなときは、必ず漏電ブレーカーを「切」（OFF）側にする</p>   <p>絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になることがあります。</p>	<p>電源ケーブルは無理に引っ張ったり、ねじったり、重いものを載せない</p>   <p>ケーブルが破損し、火災や感電の原因になります。</p>
<p>設置のとき</p> <p>石油類やプロパンガスなどの引火しやすいものを本体に近づけない</p>   <p>火災の原因になります。</p>	<p>ご自分で設置や移動・再設置はしない</p>   <p>不備があると感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店、または工事店にご相談ください。</p>
<p>設置のとき</p> <p>排気筒の近くに物を置かない</p>   <p>排気筒</p> <p>高温の排気と熱で変色や変形、また植物などは枯れることがあります。</p>	<p>本体の近くに消火器を設置する</p>   <p>消火器の設置が義務づけられていますので必ず設置してください。（屋外設置の場合は消火器格納ボックスに収納してください。）</p>

ご使用前

安全のために必ずお守りください

**お願い**

排気筒を延長して設置された場合など多量の結露水が発生します。結露水はゴミの種類により酸性を示すことがありますので、薄めて排水していただくことをおすすめします。

# 商品概要

## 商品の概要

レストラン・食堂・給食等で発生する生ゴミを処理する機器です。

他の用途には使用しないでください。

本来の用途以外の目的に使用された場合に起きた事故・損害については当社は補償できません。

## 構造

### 生ゴミ投入口

扉にキーが付いております。小動物の侵入やお子様のいたずらを防止できます。

### 攪拌羽根

加熱乾燥中に、生ゴミを間欠的に攪拌し、効率よく短時間で乾燥処理します。

### 乾燥室

1回当たり最大約60kgの生ゴミが処理できる、大型容器です。

### 排出トレイ

### 燃焼排ガス・水蒸気

### 排気筒

生ゴミからの水蒸気と燃焼排ガスを外に出します。

### 脱臭触媒

生ゴミの臭い成分を触媒のはたらきで酸化脱臭します。

### 灯油バーナー

燃焼により乾燥のエネルギーをとり出し、生ゴミからの臭いの分解もします。

### 乾燥ゴミ排出口

ワンタッチ操作（排出スイッチ）で簡単に処理後の乾燥ゴミが捨てられます。

### お知らせ

運転中に投入扉を開けると、エラーを表示して運転を停止します。

## 処理工程

### 生ゴミ投入



電源キー  
運転スイッチ

### 生ゴミ処理

加熱乾燥  
攪拌  
脱臭

### 処理終了

減容・減量

電源キー  
排出スイッチ

### 乾燥ゴミ排出



# 各部のなまえ

## 本体外観

投入口  
1ページ

投入扉  
1ページ

ハンドル  
1ページ

駆動軸  
1ページ

攪拌羽根

非常停止スイッチ  
7ページ

排出扉  
排出トレイ 14ページ

排気筒

操作部 7ページ

排出口フタ  
18ページ

排出口  
(乾燥ゴミ排出口)

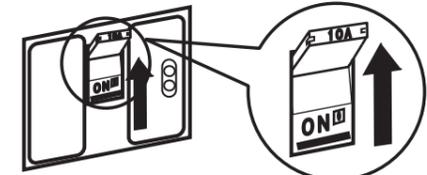
漏電ブレーカー  
7ページ 18ページ

ドレンホース  
オプション

送油管接続口

水抜き栓

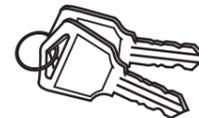
漏電ブレーカーを入(ON)にするときは



排出扉を開け、排出トレイを取り出してから漏電ブレーカーを動作させてください。

## 付属品

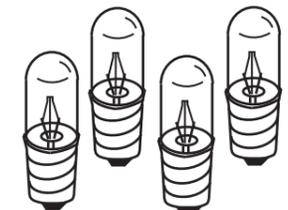
投入扉開閉キー (2個)



電源キー (2個)



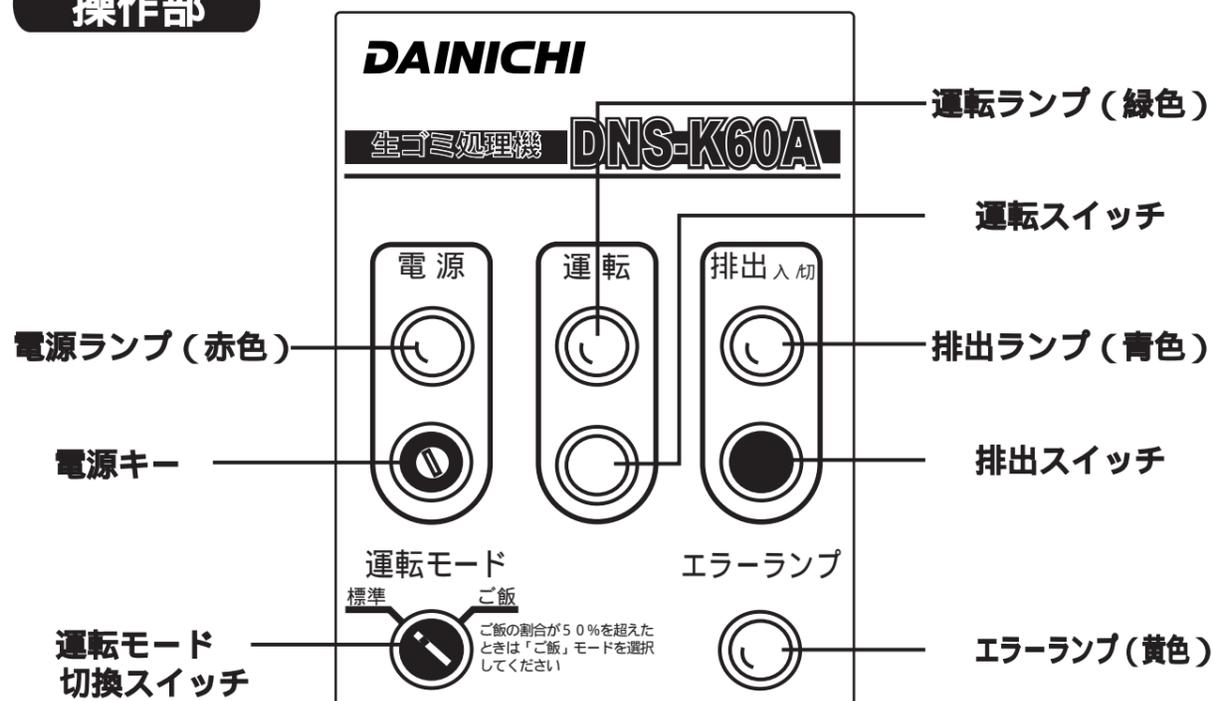
ランプ (交換用4個) 25ページ



# 操作部のなまえとはたらき

# 投入できるもの 投入してはいけないもの

## 操作部



## 投入できるもの

レストラン・食堂・給食等で発生する生ゴミだけです。

ご飯・麺類、茶がら、野菜くず、果物くず、肉類・魚類、その他・一般的に人が食べられる食材・調理物

ただし、処理する生ゴミが同じ種類にかたよる場合は、他の生ゴミと一緒に処理してください。

## 投入してはいけないもの

生ゴミ以外はいれないでください

### 1 引火・爆発するもの



**警告**

次のようなものは、絶対投入しないでください。

- 酒類 (果実酒・薬用酒など)
- 石油類
- アルコール分及びアルコール分を含む食品 (酒かすなど)
- アルコール (焼酎・ホワイトリカーなど) 漬けをしたあとの果実・薬草など
- その他 (缶類 (スプレー缶など)・電池類・花火)
- (爆発・引火の恐れがあります。)

### 2 機器の故障になるもの

生ゴミでも次のようなものは投入しないでください。

- 牛・豚などの骨
- カキ・サザエ・アワビ・ほたて貝などの硬い貝殻や多量のアサリ・しじみなど
- 漬物・味噌汁・塩漬類などの塩分の多い生ゴミだけの投入、または多量投入

### 生ゴミ以外の材料

- スプーン、フォークなどの金属類
- ガラス、陶磁器類
- スチロールトレイ、ポリ袋・ラップなどのシート類
- 割り箸・竹ぐしなどの木竹製品
- 輪ゴム
- 乾電池
- 雑誌や新聞の束
- ・・・など

使用前

操作部のなまえとはたらき

使用前

投入できるもの・投入してはいけないもの

電源キー	いたずら運転防止のためのスイッチです。 右方向に「入」にし、電源ランプが点灯したら手をはなします。 自動的にもとの位置に戻りキーを抜くことができます。 (キーなしでは電源の「入」ができません。) 電源キーを「入」にしても電源ランプが点灯しないときは、漏電ブレーカーが「入」(ON)になっているのを確認してください。(6ページ)
運転スイッチ	生ゴミ処理機の乾燥運転を開始させます。 (運転ランプが同時に点灯します。) 処理が終了すると、自動的に運転は停止します。 (運転ランプと電源ランプが消灯します。)
排出スイッチ	乾燥ゴミの排出運転をします。 (排出が終了すると排出ランプと電源ランプが消灯します) 排出中にもう一度押すと、排出を止めシャッターを自動的に閉めます。
エラーランプ	機器の運転にエラーが発生した場合にランプが点灯あるいは点滅します。
運転モード切替スイッチ	投入する生ゴミに50%以上のご飯が入っている場合は、「ご飯モード」に切り換えてください。
非常停止スイッチ (6ページ)	異常の際に運転を停止させます。 (スイッチを押すと運転を停止します。排出途中でスイッチを押すと、排出口フタは開いたままになっています。) 再度運転をするときの手順は、(20ページ)を参照してください。
漏電ブレーカー (6ページ)	本機が漏電のときや落雷があったときに作動します。 長期間ご使用にならないときや異常時には、運転を止めるとともに必ず漏電ブレーカーを「切」(OFF)にしてください。

# 使用前の準備

## 1 燃料

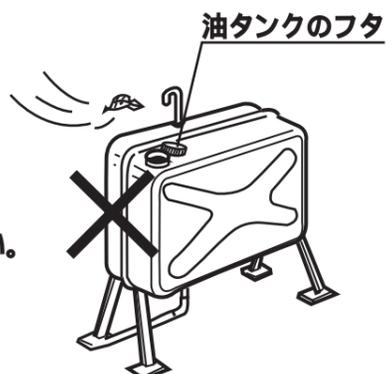
### 使用燃料

- ・燃料は、必ず灯油（JIS1号灯油）を使用してください。  
変質灯油・ガソリン・軽油・不純灯油（汚れた灯油・水の混入した灯油など）は絶対に使用しないでください。  
異常燃焼や故障の原因になります。

## 2 給油

### 油タンクへの給油

- ・給油の際に、水・ゴミなどを入れないよう特に注意してください。水・ゴミなどは燃焼不良などの原因になります。
- ・水抜きに関しては、[17ページ](#)を参照してください。
- ・油タンクのフタは、確実に閉めてください。
- ・こぼれた灯油はよくふきとってください。



## 3 運転開始前の準備と確認

### 油タンクの送油バルブを開ける

### 電源の確認

- ・電源は三相200Vを使用してください。  
（なるべく専用配線をおすすめします）
- ・電源コードが鋭い角に当たっていないか確認してください。  
コードが傷ついて漏電の危険があります。

### 送油経路の油もれの確認

- ・油タンクや送油管の接合部などから油漏れがないかどうか確認してください。

### 漏電ブレーカーのスイッチが「ON」になっているか確認

- ・初めての運転、油受皿（本体）水抜き後の運転では、漏電ブレーカーのスイッチ「ON」で、自動的に灯油をくみ上げ始めます。  
この場合、機内の送油経路・油受皿に灯油が回りきるまで時間がかかりますので、2分以上の時間を置いてから3～4回程度、漏電ブレーカーのスイッチを入れ直してください。

### 非常停止スイッチが解除されているか確認

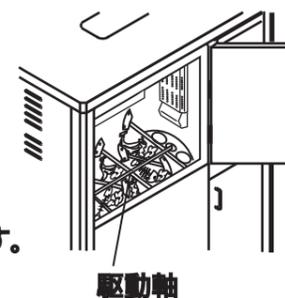
# 上手にお使いいただくために

## 生ゴミを入れるとき

お使いになる前に「日常のお手入れ」を行ってください。 [17ページ](#)

「**駆動軸**」が見えなくなるまで生ゴミを入れないでください。

- ・最大処理量は約60kgですが、生ゴミの種類によっては、嵩（かさ）が高くなります。その場合は、生ゴミを取り出して、駆動軸の下面までにしてください。  
乾燥時間が長くなったり、未乾燥になることがあります。また、駆動部等への負担がかかり、故障の原因になります。



極端に少量の生ゴミの場合は未乾燥になることがあります。

処理する生ゴミがでんぷん類や果物等、特定の種類にかたよる場合や、油分の多い場合は、他の生ゴミと一緒に処理してください。

- ・麺類・ご飯・もち・果物などのでんぷん類や糖分が多い場合は、かたまりになることがあります。
- ・多量の魚や天ぷら油など過度に油分が多い場合は、油分は乾燥せず、べたついた状態で残ります。

水分の多い生ゴミ類（スープ・野菜など）を処理するときは、他の生ゴミと一緒に処理してください。

庫内でゴミが腐敗しないように早めに処理してください。

- ・生ゴミを投入したまま放置された後に運転すると、腐敗が進んで悪臭がする場合があります。早めに処理してください。
- ・悪臭が発散することがありますので、腐敗したゴミや刺激臭の強いゴミ、排泄物等は投入しないでください。

## 処理後

乾燥ゴミは毎回取り出してください。

- ・駆動部等への負担がかかり、故障の原因となります。
- ・乾燥ゴミの量が多い場合は、排出トレイからあふれることがあります。2回以上に分けて排出してください。

# 運転のしかた

## 1 投入扉を開ける

投入扉にキーを差し込み、右に回して鍵を開ける。

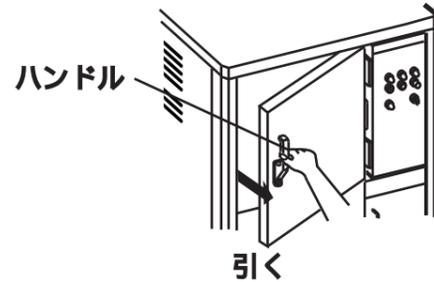


### お願い

寒冷地や冬期等、投入扉キー穴に水が入り凍結することがありますので、凍結した場合はあたためて溶かしてください。

キー操作は、力を入れずに軽く回してください。

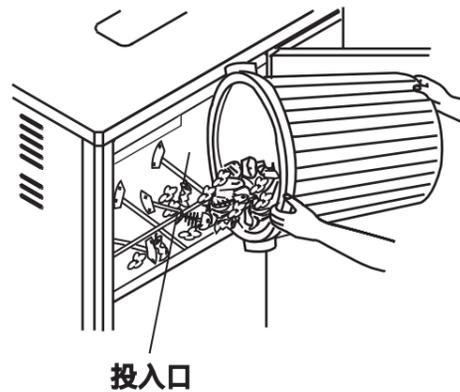
ハンドルを手前に引いて投入扉を開ける。



## 2 生ゴミを投入する

生ゴミの水切りをする。  
(乾燥時間が短くなります)

生ゴミを投入する。



### お願い

ポリ袋は入れないでください。  
(駆動軸にからみついたり、排出口につまって故障の原因となります。)

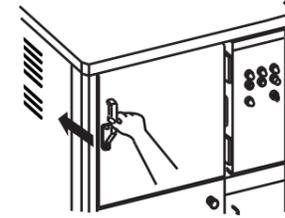
### お願い

駆動軸の下面までにしてください。  
(乾燥時間が長くなったり、未乾燥になることがあります。また、駆動部等への負担がかかり、故障の原因になります。)



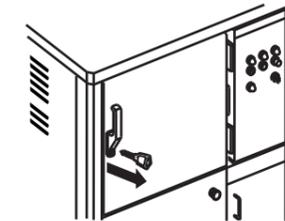
## 3 投入扉を閉める

投入扉を確実に閉める。



扉が確実に閉まっていないと運転できません。投入口にゴミが付着して、完全に閉まらないときはブラシなどで取り除いてください。

投入扉開閉キーを左に回して必ず抜き取って保管してください。

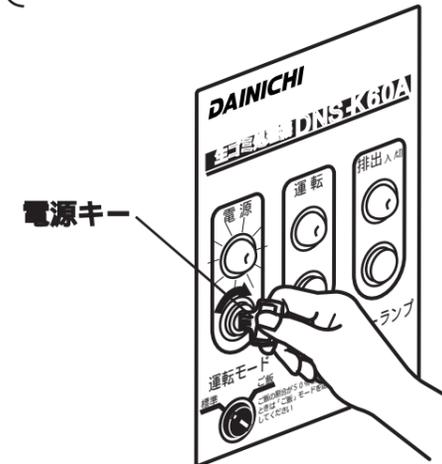


### お願い

抜いたキーは紛失しないように確実に保管してください。

## 4 電源キーを「入」にする

電源キーを差し込み、右方向に「入」にすると電源ランプ「赤色」が点灯します。  
〔「入」にしても電源ランプが点灯しない場合は、漏電ブレーカーが「入」(ON)になっているか確認してください。〕



### お願い

寒冷地や冬期等、電源キー穴に水が入り凍結することがありますので、凍結した場合はあたためて溶かしてください。

キーは手をはなすと自動的に元に戻ります。

キー操作は、力を入れずに軽く回してください。

電源キーを必ず抜いて保管してください。  
(いたずら運転防止のため)

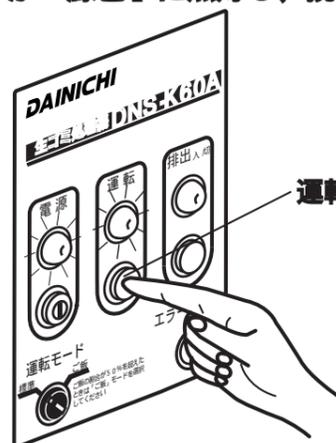
### お願い

抜いたキーは紛失しないように確実に保管してください。

# 運転のしかた (漏電ブレーカーの動作チェック)

## 5 運転スイッチを押す

運転ランプが「緑色」に点灯し、攪拌・乾燥を開始します。



運転スイッチ

運転途中で投入扉を開けた場合、エラーランプが点滅して電源が切れますので、投入扉を閉じた後再度電源キーを入れ、「運転スイッチ」を押してください。

## 6 処理終了

処理が終了しますと自動的に「切」になり、運転ランプと電源ランプが消灯します。

### 処理時間のめやす

(標準試験生ゴミ)

最大約60kgの生ゴミを処理するには、10～11時間かかります。

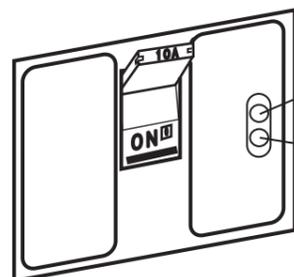
- ・投入される生ゴミに含まれる水分量によっては、処理時間が長くなる場合があります。
- ・運転時間が最長約20時間で止まるように設定されています。

### 漏電ブレーカーの動作チェック

定期的に行ってください(月1回程度)

<漏電ブレーカーの動作チェック方法>

漏電ブレーカーの「入」(ON)の状態、テストボタン(赤色)を押す。  
自動的に「切」(OFF)になればOKです。  
黄色ボタンを押してから、「切」(OFF)側に強く押し下げる。  
漏電ブレーカーを「入」(ON)にする。



黄色ボタン

テストボタン(赤色)

# 乾燥ゴミの排出のしかた

## 1 電源キーを「入」にする

電源キー差し込み、右方向に「入」にすると電源ランプ「赤色」が点灯します。



電源キー

キーは手をはなすと自動的に元に戻ります。

キー操作は、力を入れずに軽く回してください。

キーを必ず抜いて保管してください。  
(いたずら運転防止のため)

### お願い

抜いたキーは紛失しないように確実に保管してください。

排出トレイがセットされていることを確認する。



排出トレイ

排出トレイには、専用のフタが付属されています。このフタが外されていることも確認してください。排出トレイにビニール袋をかぶせておくと、乾燥ゴミが中にたまりません。ビニール袋の口をしぼっていただければそのまま保管ができます。

# 乾燥ゴミの排出のしかた

## 2 排出スイッチを押す

排出ランプ「青色」が点灯し、乾燥ゴミが排出されます。



乾燥ゴミの量が多い場合、排出トレイからあふれることがあります。量が多い場合は、2回以上に分けて排出してください。  
1回の排出動作は約15分です。  
排出しきれなかった場合は再度、排出運転を実施してください。

約15分間排出したら自動終了し、排出口フタが閉じ、排出ランプと運転ランプが消灯します。

### 排出途中で止める場合

止めたいときにもう1度「排出スイッチ」を押してください。  
(排出ランプと電源ランプが消えます。 <7ページ> )

### 排出途中で投入扉を開けた場合

エラーランプが点滅し、電源が切れますので、投入扉を閉めた後、再度電源キーを入れ「排出スイッチ」を押してください。

### 排出ランプ「青色」とエラーランプ「橙色」が点滅した場合

排出口フタが完全に閉まっていません。  
(排出口に異物などがかみ込んでいないか確認してください。 <18ページ> )

## 3 ゴミを捨てる

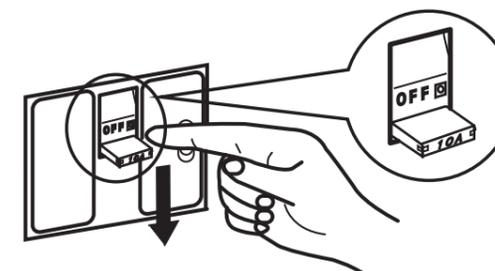
乾燥ゴミは、一般可燃ゴミと一緒に捨てられます。

乾燥ゴミは有機肥料素材としても再利用できます

### ⚠ 注意

長時間ご使用にならないときや異常時は、運転を止めて必ず漏電ブレーカーを「切」(OFF)にする。

(感電・火災の原因になることがあります。)



<漏電ブレーカーを「切」(OFF)にする>

### ⚠ 警告

内部は、攪拌羽根が回っており、大変危険です。  
排出口扉から乾燥室に何か物を入れたり手などを入れたりしないでください。



# 手入れのしかた

# 手入れのしかた

⚠ 警告	⚠ 注意
<p>お手入れの際は、運転を止めて必ず漏電ブレーカーを「切」(OFF)側にする。 (感電やけがを恐れます。)</p>	<p>運転停止直後のお手入れは、本体が熱くなっていますので避けてください。 (排気筒や内部が高温になっていますのでやけどの原因になります。)</p>

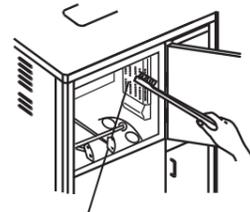
## お守りください

お使いになる前や後には、お手入れを行ってください。  
 ・循環吸引口、吹き出し口にゴミが付着したまま使用をつづけると、故障の原因となります。  
 ・排出口にゴミが付着、堆積している場合は、フタが閉まりきらないことがあります。(エラー表示)

## 日常のお手入れ

### 循環吸引口

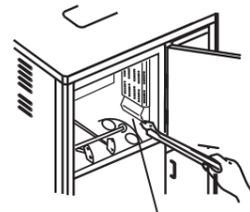
・カバーが汚れたり、ゴミが付着している場合は、ブラシなどで清掃してください。



循環吸引口

### 循環吹き出し口

・吹き出し口にゴミが付着していたり、塞ぐような異物があった場合は取り除いてください。

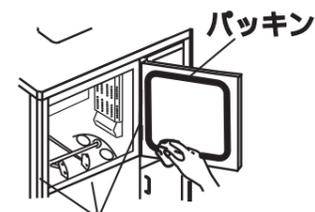


循環吹き出し口

### 投入扉のパッキン、投入口周辺

・汚れていたり、ゴミが付着している場合は、掃除してください。

(臭いがもれたり、脱臭効果が少なくなったりします。)



投入口周辺

### 排出口、シューター

・乾燥ゴミなどが堆積している場合は、金属へらなどで取り除いてください。

電源キーを入れ、排出スイッチを押す。

排出フタが開き始める

排出口フタがほぼ全開まできたら、

漏電ブレーカーを「切」(OFF)にする。

掃除・除去

漏電ブレーカーを「入」(ON)にする。

電源キーを入れ、排出スイッチを押す。

排出フタが全閉する

ランプ表示が消え、復帰動作終了。

(通常の運転が可能です。)

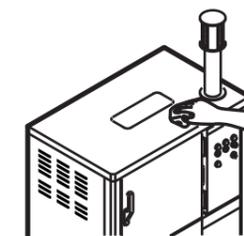


排出口

## 異物が入ったり汚れがひどい場合のお手入れ

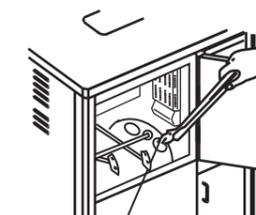
### 本体の外まわり

・手あかや水あかなどの汚れは、スポンジや濡らしたかたく絞ったふきんなどでふいてください。  
濡らしたふきんに少量の中性洗剤をつけて汚れ部分をふき、その後、乾いた布でふくとよりきれいになります。



### 本体内部・排出口

・本体内部にポリ袋がからんだり、金属などの異物がある場合は、金ばさみなどで取り除いてください。  
・排出口に異物が、かみ込んだ場合は、「エラーランプ」と「排出ランプ」が点滅します。  
異物を取り除いた後、次の手順で再び運転してください。



排出口

エラーを表示し電源が切れますので、排出口フタが開いたままになります。

もう1度電源キーを入れ「排出スイッチ」を押すことで、排出口フタが閉じます。

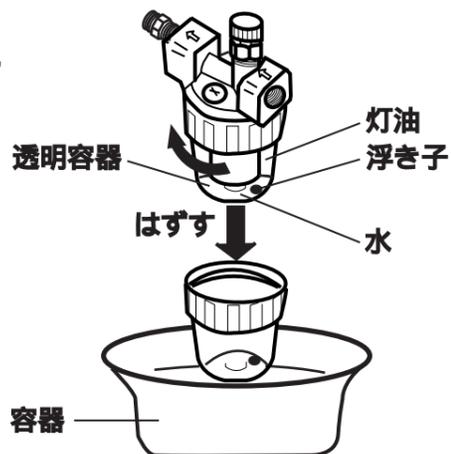
継続して排出したいときは、再度電源キーを入れ「排出スイッチ」を押してください。

# お手入れのしかた

## 油フィルター内の水抜き

油フィルターを点検し、水・ゴミなどがたまっていたら抜いてください。

水がたまると赤い浮き子が浮き上がります。油タンクのパルプを閉めてください。配管内の灯油が流出しますので大きめの容器を用意し、油フィルター下に置いてください。透明容器をはずして、水・ゴミを取り除いてください。透明容器をしっかりと取り付けてください。油タンクのパルプを開けてください。



## 油受皿（本体）の水抜き

本体右側面の水抜き栓をはずす。漏電ブレーカーを「切」(OFF)にしてから行ってください。



灯油と水が排出されます。

すべて抜き終わったら、市販のシールテープを巻き水抜き栓を締め込む。



## 長期間使用しないとき

機器内のゴミをすべて排出する。漏電ブレーカーを「切」(OFF)にする。油タンクのパルプを閉める。油受皿の灯油をすべて抜く。（「油受皿（本体）の水抜き」に従って抜く）使用を再開するときは、「使用の準備」に従ってください。◀9ページ

# 異常が発生したとき

## 異常音や駆動軸がロックしたときは

生ゴミ以外の異物を投入したため、異常音が出たときや、危険を感じた場合は下記の「非常停止」スイッチを押してください。

### ⚠ 注意

異常音発生時（異物混入など）は、運転を止めて必ず漏電ブレーカーを「切」(OFF)にする。異常のまま運転を続けると、故障や感電・火災の原因になります。お買い上げの販売店にご相談ください。

## 停止するときは

「非常停止」スイッチを強く押す。漏電ブレーカーを「切」(OFF)にする。◀16ページ



異物などを取り除き、安全を確認した後

## 再運転するときは

漏電ブレーカー「入」(ON)にする。◀6ページ  
「非常停止」スイッチを矢印方向に回し、手を離して解除する。電源キーを右方向に「入」にする。◀12ページ  
運転スイッチを押す。  
(排出口の排出口フタが開いていた場合自動的に閉じます。)

## 排出途中での非常停止又は停電

排出途中で「非常停止」スイッチを押された場合又は排出途中で停電した場合は、排出口フタが開いたままになっていますので、上記の「再運転するときは」の手順 ~ に従い、で「排出スイッチ」を押して排出口フタを閉じてください。この後、通常の運転が可能です。

# 故障・異常の見分け方と処置方法

## 異常の原因と処置のしかた

何らかの異常でエラーランプが点灯、または点滅や症状が現れたときは、適切な処置を行ってください。

<エラーランプが点滅している場合>

点灯 消灯 

表示部 (異常ランプ表示)				原因	処置方法
電源ランプ	運転ランプ	排出ランプ	エラーランプ		
				運転中に投入扉を開いた	投入扉を閉め、「運転のしかた」に従って再運転させてください。 <11ページ>
				排出口フタが閉まらない	排出口フタに付着したゴミを取り除いた後、「異物が入ったり汚れがひどい場合のお手入れ」に従って再運転させてください。 <18ページ>
				油タンクの油がなくなった 又は油受皿に水が混入した	給油、又は「油受皿の水抜き」に従い水を抜き、「運転のしかた」に従って再運転させてください。 <11・19ページ>
				燃焼バーナーが着火しなかった (燃焼制御装置が作動)	電源電圧が正常であることを確認し、「運転のしかた」に従って再運転させてください。 <11ページ>
				燃焼バーナーが燃焼中に 消火した (燃焼制御装置が作動)	電源電圧が正常であることを確認し、「運転のしかた」に従って再運転させてください。 <11ページ>
				本体が傾いている (転倒自動消火装置が作動)	アジャスターで本体を水平にし、「運転のしかた」に従って再運転させてください。 <11ページ>
				一時停電した (停電安全火装置が作動)	停電が復旧したことを確認し、「運転のしかた」に従って再運転させてください。 <11ページ> 排出途中で停電した場合は、「排出途中で非常停止又は停電」に従って再運転させてください。 <20ページ>
				循環する風量が低下した	「日常のお手入れ」に従って循環吸引口、吹き出し口に付着したゴミを取り除いた後、「運転のしかた」に従って再運転させてください。 <11ページ>

<エラーランプが連続して点灯している場合>

表示部 (異常ランプ表示)				原因	処置方法
電源ランプ	運転ランプ	排出ランプ	エラーランプ		
			または  または	修理・点検が必要な故障です	表示内容を控えた後、漏電ブレーカーを「切」(OFF)にし、お買い上げの販売店にご相談ください。 <6ページ> <16ページ>
				攪拌モーター停止	
				電源異常	

## 警告

点検の際は、必ず漏電ブレーカーを「切」(OFF)側にする。  
(感電やけがを恐れます。)

症状	原因	処置方法
エラーランプが点滅・点灯している	「異常の原因と処置のしかた」に従ってください。 <21ページ>	
電源キーを「入」にしても電源ランプが点灯しない	漏電ブレーカーが「切」(OFF)になっていませんか。	漏電ブレーカーを「入」(ON)にしてください。
	「非常停止」ボタンが押し込まれたままになっていませんか。	「非常停止」ボタンを矢印方向に回し解除してください。
	ランプが切れていませんか。	ランプを交換してください。
運転・排出スイッチを押してもランプが点灯しない	ランプが切れていませんか。	ランプを交換してください。
乾燥時間が長くなる	水分の多い生ゴミ類(スープ・野菜など)を多く入れていませんか。	水気を切るか、量を少なくしてください。
	循環吸引口が目づまりしていませんか。	清掃してください。
	生ゴミを駆動軸が見えなくなるまで入れていませんか。	生ゴミの投入は、「駆動軸」の下面までに行ってください。
完全に乾燥されていない(未乾燥)	油分の多い生ゴミ類を多く入れていませんか。 (油分は乾燥しません。)	油分の少ない他の生ゴミと一緒に入れ、再処理してください。
	停電がありませんでしたか。 (エラー表示はありません)	再度運転してください。
	水分の多い生ゴミ類(スープ・野菜など)を多く入れていませんか。	他の生ゴミと一緒に入れ、再処理してください。
	生ゴミを多く入れていませんか。 (多いと、攪拌羽根が回らなくなります。)	生ゴミの投入は、「駆動軸」の下面までに行ってください。
異常音がする	投入してはいけないものを入れていませんか。 <8ページ>	異物を取り除いてください。

## お守りください

- ・処理を行っても直らないときや、上記以外のエラー表示がでたときは故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・故障したまま使用しつづけると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

# 保証とアフターサービス

## アフターサービスの依頼

- ・点検・修理が必要になった場合は、お買い上げの販売店、または弊社営業所にご相談ください。

## 保証について

### 保証書

- ・販売店にて必要事項を本取扱説明書の末尾に記入いたしますので、記入内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。

### 保証期間

- ・保証期間は1年間です。修理の際は保証書（本取扱説明書の末尾に記載）をご提示ください。なお、保証期間中でも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

### 保証期間経過後は

- ・販売店にご相談ください。  
修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理致します。

## 補修用性能部品について

- ・補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- ・本機器の補修用性能部品は製造打ち切り後6年保有しています。

# 定期保守整備契約について

## 定期保守整備契約

このたびはダイニチ灯油焚き業務用生ゴミ処理機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ごさいます。

本機は、灯油バーナーで加熱乾燥処理する方式の業務用生ゴミ処理機です。本機の構成の中でバーナーの気化器、生ゴミを攪拌する機構部品、いやな臭いを脱臭する触媒部等は、使用される生ゴミの種類・量・稼働時間によって消耗・劣化いたします。

このためトラブルを未然に防止し、未永く安心してご使用していただくためにお客様の正しいご使用と、定期的な点検整備が必要です。特に触媒・気化器・ランプ等の消耗部品を支障なく使っていただくため「6,000時間ごとの点検・消耗部品交換」が必要です。

保守点検には、専門の技術が必要となります。そこでお客様にかわって定期的な点検と整備をお引受けし、年2回の定期保守点検と6,000時間ごとの点検・消耗部品の交換をする「定期保守整備契約」が必須となります。

据付工事完了のご確認とともに定期保守点検の申し込みをお願いいたします。

愛情点検	長年ご使用の灯油焚き業務用生ゴミ処理機の点検を！	
	<p>こんな症状はありませんか</p>	<p>電源キーを入れても、ときどき運転しないことがある 生ゴミの臭いを強く感じる 運転中に異常音がしたり振動がある その他の異常や故障がある</p>
		<p>以上のような症状の時は、使用を中止し、故障や事故防止のため必ず販売店に点検をご相談ください</p>

### 消耗部品について

・ご使用頻度により異なりますが、触媒・気化器・ランプ・投入扉パッキン類は定期的な交換（有料）が必要となります。

部 品 名	交 換 目 安 時 間
触 媒	約 6 , 0 0 0 時 間
気 化 器	約 6 , 0 0 0 時 間
ラ ン プ	約 3 , 0 0 0 時 間
投入扉パッキン	約 6 , 0 0 0 時 間

・交換については、お買い上げの販売店にご相談ください。

# 操作部の「ランプ」交換のしかた

# 仕様

## 「ランプ」交換のしかた

ランプは、付属品で4個ついています。

ランプ切れの場合は、次の手順で交換してください。

ランプカバー（色付き透明樹脂カバー）を矢印方向（左側）に回します。  
ランプカバー（色付き透明樹脂カバー）とゴムパッキンが一緒に外れます。



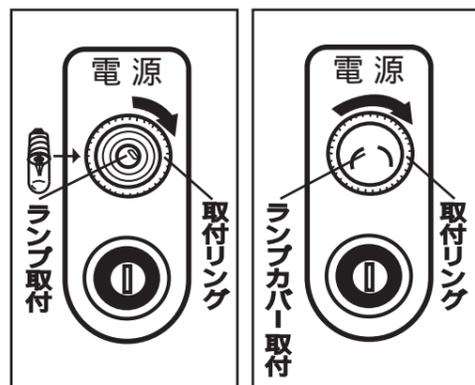
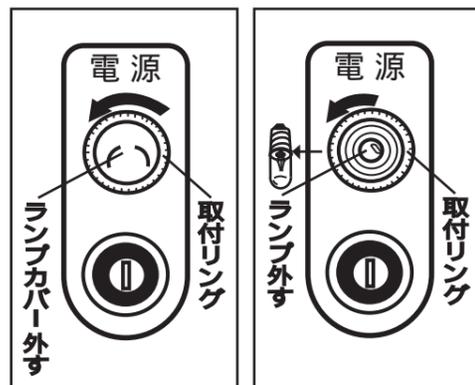
取付リングは回さないでください。

ランプを矢印方向に（左側）に回して、ランプを取り外します。

新しいランプを矢印方向（右側）に回して取り付けます。  
（確実に固定できているかを確認してください。）

ランプカバー（色付き透明樹脂カバー）とゴムパッキンを矢印方向（右側）に回し確実に取り付けます。

ランプ：30V2W



### 警告

交換の際は、必ず漏電ブレーカーを「切」(OFF)側にする。  
(感電やけがをする恐れがあります。)

型 式	DNS - K 6 0 A
定 格 電 圧	三相200V
定 格 周 波 数	50 / 60 Hz (但し、機器の部品切替必要)
定 格 消 費 電 力	500 / 600 W
定 格 灯 油 燃 焼 量	6.0 kW (± 10%)
1回あたり灯油消費量	約7L / 60kg
1回あたり処理量	最小20kg~最大60kg
1回あたり処理時間	約4時間 / 20kg~約1時間 / 60kg(生ゴミにより異なる)
外 形 寸 法	(高)1500(煙突含む1980) × (幅)1200 × (奥行)750mm <投入庫を開けたときの奥行き 1460mm>
質 量	約330kg
付 属 品	投入庫開閉キー(2個), 電源キー(2個), ランプ(交換用4個), 排気筒(1セット), 排出トレイ(1個), アース棒(1個), 油フィルター(1セット), 「上手な使い方シート」(1枚), 「工事説明書」(1冊)

最大処理量は約60kgですが、生ゴミの種類によっては、嵩(かさ)が高くなります。  
その場合は、生ゴミを取り出して、駆動軸の下面までにしてください。  
長期間ご使用にならないときは、本体の漏電ブレーカーを必ず「切」(OFF)にしてください。

# 問い合わせ先



東京営業所	〒101-0021 千代田区外神田 2-13-7	ダイニチ神田ビル	☎ 03(3258)384代
大阪営業所	〒564-0044 大阪府吹田市南金田 2-6-6		☎ 06(6330)143代
仙台営業所	〒984-8651 仙台市若林区卸町 3-1-15		☎ 022(235)862代
新潟営業所	〒950-1295 新潟市北田中 780-6		☎ 025(362)114代
高崎営業所	〒370-0043 群馬県高崎市高関町 345		☎ 027(328)050代
宇都宮営業所	〒320-0838 宇都宮市吉野 2-1-12		☎ 028(636)941代
名古屋営業所	〒461-0040 名古屋市東区矢田 1-3-33	第一生命ビル	☎ 052(721)667代
広島営業所	〒731-0137 広島市安佐南区山本 1-4-25		☎ 082(875)885代
福岡営業所	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南 2-4-11	シティーコート中陽	☎ 092(474)073代

## ご不明な点に関するご相談

<こんなことでお困りのとき>

- ・使用方法がよくわからない
- ・お手入れの方法がよくわからない
- ・異常時の対処方法がわからない
- ・ご転居等で近くに修理してくれるお店がわからない

アフターサービスご相談窓口 (通話料無料)

TEL 0120-468-110

FAX 0120-468-220

受付時間 (1月～1月) 9:00～19:00(土は～17:00まで、日・祝日・年末年始は休み)  
(2月～10月) 9:00～12:00、13:00～17:00(土・日・祝日は休み)

- メモ -

- メモ -

- メモ -

# ダイニチ灯油焚き業務用生ゴミ処理機保証書

保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従って正常な使用状態で使っていて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼の上、本書をご提示ください。

型名	DNS-K60A	製造番号	
お客様	お名前 様		
	ご住所 〒 電話番号 ( ) -		
お買い上げ日		販売店住所・店名	
年 月 日			
保証期間 (お買い上げ日から)			
本体1年間			

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
  - (イ) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下、移動、輸送等による故障または損傷。
  - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)異常電圧、使用電源(電圧・周波数)、水、ガソリンなどによる故障または損傷。
  - (ニ) 灯油(JIS 1号灯油)以外の油や水が混入した不純灯油、変質灯油、ガソリンなどの異種油を使用された場合に生じた故障または損傷。
  - (ホ) 車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
  - (ヘ) 消耗品を交換する場合。
  - (ト) 本書のご提示がない場合。
  - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (リ) 部品の紛失(投入扉開閉キー、電源キーなど)。
- 離島または離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 譲渡品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼されない場合には、弊社営業所にご相談ください。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社営業所にお問い合わせください。

保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

修理メモ

 **ダイニチ工業株式会社**

〒950-1295 新潟市北田中780-6  
TEL 025-362-1101(代)